

令和3年度 学校経営計画 東京都立新宿山吹高等学校 通信制

目指す学校	<p>単位制・無学年制・通信制の良さを生かし、「自己管理能力」を育み、個々の生活スタイルや学習ペースに合わせ、レポート作成で自学自習の習慣を身に付けさせ、スクーリングに出席させ、進路実現を支える通信制高校を目指す。</p> <p>① レポート作成による自宅学習、スクーリングによる登校指導等の従前からの指導に加えて、令和2年9月に導入される「都立通信制高校運営総合情報システム」を活用し、自宅PCのほか、移動中にタブレットやスマートフォンからシステムにアクセスすることで、学習機会や学習方法の多様化に対応する。</p> <p>② 生徒の実態に応じ、基礎的基本的な知識・技能を習得させるとともに、生徒間の学力差に対応するため、民間コンテンツを活用し、動画視聴等を含むe-learningによる自宅学習を促進し、必要に応じて反復学習を行う。</p> <p>③ 生徒・保護者ニーズを踏まえたシステムによるスケジュールのガイドや、履修・学習状況の把握・管理により、学習意欲の向上や自学自習を支援していく。</p> <p>④ 質問や相談履歴を蓄積することにより、生徒支援体制を推進していく。</p>
-------	--

	目 標	方 策
中期的目標と方策	①大学等への進学を叶える通信制高校として、生徒の学習活動を支援する。	進学意欲のある生徒に対して、積極的な学習指導・進路指導ができるよう、各教科・担任・相談部等が連携する。
	②基礎的基本的な知識・技能の定着をもとに、進路実現のため学力を向上させる。	スクーリング(面接授業)で教員・生徒間等のやりとりも行き、思考力・判断力・表現力・社会性を身に付けさせる。
	③単位の履修・修得率を高める。令和2年9月に導入される「都立通信制高校運営総合情報システム」を有効に活用し、レポート提出やスクーリング等でICTの活用を推進していく。	粘り強くスクーリング出席・レポート提出を促し、レポート添削指導をきめ細かく行き、スクーリング規定数到達率・レポート提出率を高める。手書きとICTの活用を並行して推進していく。
	④進路ガイダンス機能の充実を図り、生徒一人一人に応じた進路選択ができるようにする。	相談部と担任が連携を密にし、面談やホームルーム等をおして担任等が指導を進め、生徒の自己実現を支援し、進路行事等を活用し進路を選択する力を育てる。
	⑤通信制高校の課題を分析し、改善案を提案し、「高校校教育のセーフティーネット」としての公立通信制高校の役割を、誇りをもって担う。	全国に先駆けた取組を行う通信制高校として、都が示す方針に従い転編入学募集の応募条件緩和、履修・修得率の向上などの改善を行い、本校の取組を他の通信制高校に発信する。
	⑥学校保健計画・学校安全計画や普段の指導により、人権教育、心身の健康づくり、生命の尊さの指導をすすめ、安全・安心・事故防止等に努める。	健康講話・セーフティー教室等の機会をおして生命尊重、人権尊重を徹底するとともに、情報交換会、救護・対応方法の研修等をおして、安全・安心・事故防止等を行う。
	⑦行事や部活動への参加を促し、自主性や社会性を育て、自信をもって学校生活に臨めるようにする。	行事への参加、部活動加入を奨励し、学校への帰属意識が高まるよう指導する。
	⑧校内外の研修を積極的に活用して教員の資質向上に努め、生徒による授業評価や学校評価をおして授業改善に取り組む。	校内研修や校外での研修に参加し、教育専門職としての資質を高める。また、生徒による授業評価や学校評価を参考にして、資質向上を図る。
	⑨公立通信制課程設置の背景と趣旨に鑑み、本校で学ぶ意欲のある生徒を求め、生徒募集等の広報活動を進め、地域から評価される学校であり続ける。	全教員で生徒募集等の広報活動を積極的に行う。また、地域の関係施設・団体等とも連携を図りながら、ボランティアや地域交流・地域連携をおして異年齢交流を推進する。

令和3年度の取組目標と方策		
柱	教育活動の目標と方策	重点目標と方策 数値目標等
学 習 指 導	<p>授業力の向上</p> <p>教員・生徒間、生徒同士のやりとり、レポート・学習書・学習プリントの活用等とおし、生徒に学習への関心・意欲・思考力・判断力・表現力、社会性を育て、アクティブラーニングの実践に努める。</p>	<p>○特に不登校経験者の多い本校で、授業研究、校内研修を行い、授業でのやりとりやペアワーク等を行い、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、社会性を身に着けさせるスクーリングを行なう。</p> <p>○ICT機器の更新・増設を受け、各課程・教科に配分して有効活用する。</p> <p>★教員相互の授業見学を全教員で年2回行き、見学報告書にまとめ共有する。</p> <p>★4～5月に全教員の授業をビデオ撮影し、各自で授業研究を行う。</p> <p>★本校で行う若手研、教師道場、開発委員等の研究授業を参観し授業改善に資する。</p> <p>★先進的な授業、要配慮生徒に配慮した授業に取り組み、学校経営支援センター相互授業見学データベースも活用して授業を公開する。</p>
	<p>履修・修得率向上</p> <p>生徒の個々の状況に応じて、年間をおして最後の最後まで生徒に学習をあきらめさせず、個々に単位の履修・修得等の支援を行う。</p>	<p>○学習状況通知、定期考査後や日常的な面談・電話相談等とおし、学習・生活状況を生徒や保護者等に知らせ、全生徒の単位の履修・修得率を高める。</p> <p>○毎スクーリング時に、「スクーリングかわら版」、毎月「山吹通信」を発行する。</p> <p>★年間をおして、生徒の個々の状況に応じ、保護者等に連絡するなどして、スクーリングへの出席を促し、スクーリング規定数到達率を高め、単位修得率を70%以上にする。</p> <p>★隔週水曜日に「スクーリング個別指導」を行い、何らかの理由で土曜スクーリングに出席できない者を指導しスクーリングに慣れさせる取組を行う。</p>
	<p>生徒による授業評価</p> <p>教員の資質を向上させ、生徒の授業満足度を向上させる。</p>	<p>○“生徒による授業評価”を年2回実施し、結果を全教員で共有し研修を行う。</p> <p>★授業満足度95%</p> <p>★“学校評価アンケート(生徒)”回収率30%以上</p>

向学 上力 社会 人間 と 社会 動 読 推 書 進 活 情 個人 情報	学力育成を、全校をあげて取り組む。	○学力向上推進委員会で、学力向上事業に組織的に取り組む。	★年間指導計画、週ごとの指導計画(予定表・授業実数及び授業実数累計)等を作成する。
	生徒の活躍の場を広げ、共生社会実現・インクルーシブ教育推進を図る。「人間と社会」のうち4単元を実施する。		★「人間と社会」では、古切手収集、地域清掃のほか、様々な体験活動を行う。
	司書教諭を中心に、業務委託による図書館運営を行う。	○図書館開館日を工夫し、利用率向上を図る。読書習慣を身に付けさせ、言語能力を高め、読書率を高める。	★ビブリオ委員会で書評会参加者を支援する。 ★図書室や自習室の活用を更に推進する。 ★全校年間貸出6500冊(延3800名)
	成績等の個人情報管理の徹底と作成の効率化を進める。	○保有個人情報の紛失・誤廃棄を防ぐ。 ○答案・レポート等の管理を徹底する。 ○成績資料等は複数で点検し作成する。	★答案、個人情報等の紛失・誤廃棄を防止するため、答案管理、紛失防止策の実行を徹底する。
生活 指 導	生徒の「自己管理能力」を高められるよう、担任・教科担当・生活指導部等からの指導を徹底する。 時間を意識して行動するなど、都立高校生活指導指針に基づき指導を行う。	○都立高校生活指導指針、特別指導の指導計画等に基づき、課題のある生徒に即応し、必要な場合は特別指導や懲戒を行う。 ○地域・保護者・関係機関と連携し、年2回及び随時、学校サポートチームを開催する。	★職員室やエントランスで、生徒に声をかけ、生徒の意欲を向上させる。 ★SNSでの誹謗中傷を許さない心を育む。 ★生徒会が、SNS学校マナーに取り組む。 ★いじめ防止委員会が年3回アンケートを行い対応の概要を生徒に周知する。
	生徒の健全育成に向けた取り組みを推進し、特別支援が必要な場合、全員で対応する。	○相談部・担任・生活指導部・保健室・関係諸機関との連携を図り、配慮すべき生徒の対応を行う。 ○暴力、器物損壊等には、毅然と対応する。いじめの未然防止等に取り組む。	★カウンセラー、キャリアカウンセラー、ユースソーシャルワーカーと相談部・担任との連携を進め、生徒を支援する。 ★カウンセラー・ユースソーシャルワーカーによる新入生全員面談、教員研修を行う。 ★セーフティー教室を年3回実施する。 ★カウンセリング手法、相談記録活用を進める。
特別 活 動 ・ 部 活 動	山吹祭(定通合同文化祭)等の行事、学校での発表、部活動、地域貢献・地域交流、「オリンピック・パラリンピック世界ともだちプロジェクト」等とおし、仲間をつくり、地域と関わり、ルールやマナーを学ぶ機会を得る。体力や気力を高め、全国大会、都大会、定通芸術祭等で活躍する部活を応援する。また、日頃から、校内、学校周辺に生徒作品を展示し、温かい学校づくりを進める。		★地域防災訓練等の地域行事に協力し、地域貢献、居場所づくりを促進する。 ★部活加入を奨励し、加入率25%を目指す。 ★「その怒り、6秒待つ」をスローガンにアンガーコントロールを身に付けさせ、体罰・生徒間暴力などの否定に取り組む。
	学校保健計画に基づき、生徒の健康づくりを計画的に推進する。校医を迎え、学校保健委員会を行う。	○生徒の心身の健康の課題を把握し、関係諸機関との連携を図る。 ○明るさと潤いのある校内環境の整備を行う。 ○ゴミの分別を徹底する。	★健康診断受診率60%。 ★相談部・担任・生活指導部等が、研究機関、警察、児童相談所、子ども家庭支援センター、病院等と随時連携する。 ★施設検討委員会で、将来計画を立案する。
健康 シ ス テ ム	心身の健康の意識啓発を行う。	○生徒の健全育成のための健康講話等に参加する。	★健康講話は、生徒アンケートに基づき集中講話を実施する。
	健康で安全な生活を支援する。	○生徒の健康について、家庭との連携を進める。	★担任・保健室が連携し、保護者や山吹会との連携を図る。
進 路 指 導	生徒に自己理解を促して、生徒の可能性を発見し、主体的に進路を選択するよう進路指導の充実を図る。 個々の生徒のニーズに応じた補習・講習を行う。	○卒業生数増加を目指す。 ○卒業生を囲む会、進路講演会・相談会、大学・会社訪問等を計画的に参加・実施する。 ○希望者に校外模試を紹介する。 ○センター試験の受験を奨励する。 ○キャリア教育の全体構想を実施する。	★卒業生 125名以上 ★大学進学率 30%以上 ★進路未定率 20%以下 ★高認・既卒者の進路状況を把握する。 ★高認での大学受験を支援する。 ★新宿若者総合支援センター等と連携する。 ★センター試験出願者数60名以上
	本校主催学校説明会、地域や都教委主催の合同説明会等に参加し、本校通信制の特色についての広報活動を推進する。	○ホームページを積極的に活用して情報発信を行う。 ○学校案内の工夫改善を進める。 ○定通併修、他校生併修を実施する。 ○11月と3月に学校説明会を行う。 ○30周年記念事業により、本校の存在意義の理解を広める。	★本校を目指す生徒や在校生に情報伝達するため、ホームページを300回以上更新する。 ★合同説明会等に2名以上派遣する。 ★個別相談会(11月)の参加者110世帯以上 ★学校説明会(3月)の参加者180世帯以上
・ 地 域 交 流 等 ・ 募 集 ・ 広 報 活 動	学校経営計画の実現と円滑な学校運営ができるよう、企画調整会議を中心に様々な取り組みを実施する。		★三主任が企画調整会議に出席し、定時制・経営企画室との連携を図る。 ★イクボス宣言を行う。退勤時間把握を行う。 ★年間5日の学校閉庁日を周知し、緊急時の連絡には学校専用携帯電話を活用する。
	共生社会実現・インクルーシブ教育推進を図る。		★チャレンジ雇用を相談部に位置づける。
	安全管理を推進する。	○安全管理の一環として、外来者・教職員の明確化を図る。	★教職員は、笛付きネームタグを着用する。外来者・卒業生に、ネームタグ着用を促す。
	経営企画室長の下に、事務処理を効率的に実施する。自律経営推進予算では、特に一般需用費でセンター利用率・執行率を高める。		★一般需用費センター利用率50%以上 ★全予算執行率99%以上

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経営企画室の</p>	<p>経営企画室が、学校経営に参画する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経営企画室が、校内分掌・委員会に関わり、経営に参画する。</li> <li>○トイレの様式化を推進する。</li> <li>○エレベータの安全運行を維持する。</li> </ul>	<p>★経営企画室が、30周年事業実行、学校保健、防災教育推進、施設検討、補助金審査、入試選考、ICT、図書館運営等の委員会に参画する。</p>
---	--------------------------	--	--